

社会政策関連学会協議会の 結成と活動について

社会政策関連学会協議会主催シンポジウム発表

2020年11月22日

1

遠藤公嗣

社会政策関連学会協議会設立準備委員会元委員

明治大学教授

endokosh@meiji.ac.jp

私の話したいこと

- ➡ 1 2008年に社会政策関連学会協議会をなぜ結成したか
- ➡ 2 協議会のこれまでの活動の概要
- ➡ 3 私が協議会の今後に望むこと

1 2008年に社会政策関連学会協議会をなぜ結成したか

- ➡ 社会政策に関連する学協会の連合組織が、第二次世界大戦後から2008年まで皆無であった。そのため、これら分野の学協会と日本学術会議の間の公式・非公式の関係がそれまで皆無であった。このこと自体が不適切であったと思う。
- ➡ その結果として、これら分野の、政策提言を含む、あらゆる意味での見解を日本学術会議に伝えることができなかった。
- ➡ これの是正をめざす組織が社会政策関連学会協議会であった。

具体的には

- 2005年に日本学術会議の会員選出方法が、現会員による推薦に変更された。これに伴い、1984-2005年に日本学術会議のもとにあったところの、登録学術団体が分野毎に結成した研究連絡委員会（研連）はすべて解散となった。
- 社会政策研連はそもそも結成されていなかったもので、この機に、社会政策に関連する学協会の連合組織を新たに結成することを私は考えた。2006年に、この組織構想を、大沢真理氏（当時は日本学術会議会員）と武川正吾氏（当時は社会政策学会代表幹事）に提案し、3人で最初の話し合いを持った。
- 3人で分担して、協議会の構想に賛同し、設立呼びかけに加わる個人を集めた。
- この経緯から、呼びかけ文や会則の原案も私が執筆した。

2 協議会のこれまでの活動の概要

➡ 1) 研究大会の日程重複を さける調整

(ホームページ表紙

<http://casp-home.jp/>
の頻繁な更新)

大会・国際会議の予定

2020年6月27日（土）

社会政策関連学会協議会主催「若手研究者研究方法フォーラム（仮）」

会場：同志社大学（京都市）

社会政策関連学会協議会主催「若手研究者研究方法フォーラム」は、中止となりました。

2020年7月4-5日（土と日）

福祉社会学会第18回大会

会場：同志社大学

福祉社会学会第18回大会は、中止となりました。

2020年8月29-30日（土と日）

社会保障国際論壇第16回大会

会場：北星学園大学

社会保障国際論壇第16回大会は、開催延期となりました。新しい開催日は後日決定しますが、延期は最大で2021年8月末までです。

2020年9月12-13日（土と日）

日本社会福祉学会第68回大会秋季大会

日本社会福祉学会第68回大会秋季大会はweb開催となりました。

2020年10月9-11日（金：工場見学 土と日）

日本労働社会学会第32回大会

日本労働社会学会第32回大会は、オンライン形式（zoom予定）で、10月11日（日）のみの開催となりました。

2020年10月24-25日（土と日）

社会政策学会第141回大会

社会政策学会第141回大会はweb開催となりました。

2020年11月22日（日）

社会政策関連学会協議会主催シンポジウム「市民生活と社会政策研究—日本学術会議、学会の役割を考える—」

会場：オンライン（Zoom）開催

事前登録必要 <https://forms.gle/9cvEhpSudXfQnDfU8>

2020年12月12-13日（土と日）

ジェンダー法学会第18回学術大会

会場：津田塾大学（東京）小平キャンパス

2021年春

社会政策学会第142回大会

会場：一橋大学（東京都）

2021年秋

社会政策学会第143回大会

会場：福島大学（福島市）

2 協議会のこれまでの活動の概要（続）

- ➡ 2) 日本学術会議の包括的社会政策分科会
(詳しくは、武川正吾氏のお話)
- ➡ 3) 協議会主催シンポジウム・研究会
東京開催
東京外開催（札幌市・福井市・福島市・大分市）
- ➡ 4) 若手研究者支援シンポジウム
「経験者が語る修士論文完成まで」
「はじめての査読論文」
2020年6月は京都で開催を予定だったが、コロナ禍で中止…

3 私が協議会の今後に望むこと

- 1) 協議員は頻繁に交代するが、しかし、協議会のルーティン的な活動の継続によって、協議会の存在を定着させること
- 2) 日本学術会議との制度的連携関係をより改善すること
2005年の「研連」すべての解散は理由があったと思うが、この結果、現在、学術研究団体と日本学術会議の関係が相当に薄くなった。これは改善すべきと思う。